

食用油に適する
暖地向きナタネ

なな はるか

- ◆ 成熟期が早いので暖地での栽培に適します。
- ◆ 油中にエルシン酸を含まないため食用油に適します。
- ◆ 搾油の食味が良好です。

育成のねらい

栄養学的な観点から食用ナタネ油には無エルシン酸品種が望ましいとされています。しかし、暖地に適した無エルシン酸品種はこれまでありませんでした。このため、温暖地向きの「ななしきぶ」が栽培されてきましたが、成熟期が遅いために九州南部のような暖地では収穫期が梅雨にあたり、子実品質の低下や収穫作業の遅れによる後作との作期競合などの問題が起きていました。そこで、より早く成熟する早生の無エルシン酸ナタネ品種「ななはるか」を育成しました。

品種の活用面

- 栽培適地は九州南部地域です。九州地域における子実品質の安定化と作付面積の拡大が期待できます。
- 種子は食用油（ナタネ油）の原料として利用できます。「ななはるか」は圧搾油の食味評価がやや高く、地域産業に貢献する製品開発が見込まれています。
- 搾り粕は有機肥料として利用できます。

栽培特性及び品質

東北農業研究センター(岩手県盛岡市)における生育特性

品種名	耐倒伏性	菌核病 抵抗性	寒害 抵抗性	雪害 抵抗性
ななはるか	やや強	やや強	中	中
ななしきぶ(対照)	強	やや強	やや強	やや強
キザキノナタネ(標準)	強	強	強	強

栽培上の留意点

- 自家採種は避け、採種圃由来の無エルシン酸が保証された種子を使用してください。
- 交雑可能なアブラナ科植物とは距離を離して栽培して下さい。
- 菌核病発生程度は「ななしきぶ」よりやや高い傾向があります。過度の密植及び多肥栽培は避け、輪作などの耕種の防除に努めてください。



キザキノナタネ ななしきぶ ななはるか
「ななはるか」の草姿

鹿児島県農業開発総合センター大隅支場における試験成績(2010~2012年)
および鹿児島県東串良町における現地試験成績(2011~2012年)

試験機関 試験地名	品種名	成熟期 (月日)	草丈 (cm)	子実重 (kg/a)	ななしきぶ比 (%)	含油率 (%)	収油量 (kg/a)	ななしきぶ比 (%)	エルシン酸 含有率 (%)
鹿児島県 大隅支場	ななはるか	5.15	141	36.9	87	42.1	15.5	90	0.0
	ななしきぶ(対照)	5.19	144	42.2	100	40.7	17.2	100	0.0
	オオミナタネ(標準)	5.13	156	44.5	106	45.3	20.1	117	43.1
鹿児島県 東串良町	ななはるか	5.12	132	33.3	94	42.8	14.5	99	—
	ななしきぶ(対照)	5.16	130	35.4	100	41.1	14.6	100	—

《種子入手先》

農研機構東北農業研究センター 企画管理部 業務推進室 運営チーム
電話.019-643-3443 FAX.019-643-3405

《利用許諾に関するお問い合わせ先》

農研機構 連携普及部 知財・連携調整課 種苗係
〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1 電話.029-838-7390 FAX.029-838-8905

品種に関するお問い合わせは

農研機構東北農業研究センター 企画管理部 情報広報課まで

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4
電話.019-643-3414 FAX.019-643-3588
メール.www-tohoku@naro.affrc.go.jp http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/

東北農研

検索

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。